

- 1 中東・北東アジア情勢—アフガン戦争「たたかう価値がない」51%
 - 2 歴史は繰り返さない—人が過ちを繰り返す
 - 3 米英型2大政党制は戦争の歴史—問われているのは日本の未来
 - 4 悪化する生活基盤の改革こそ必要
 - 5 その他のニュース
-

A (朝日)、M (毎日)、Y (読売)、N (日経)、サ (産経)、H (赤旗) の略号です。新聞以外の記事は扱っておりません。また、外国関係の記事は、全て現地時間に合わせていますので、御留意下さい。

ニュースヘッドライン

1 中東・北東アジア情勢—アフガン戦争「たたかう価値がない」51%

8. 6 N「米朝、深まる対話路線—クリントン氏来朝で米記者解放—米、特使派遣も視野、核放棄への道筋手探り」／T「拉致解決、北朝鮮に促す—元米大統領、米朝進展へ強調」
8. 7 イラクー北部モスル附近のモスクで自爆テロ—死者 38 人 (8. 8A)
8. 10 イラクー北部モスル近郊と首都バグダッドで連続爆弾テロ—死者計 45 人 (8. 11A)
⇒8. 11 バグダッド東部で爆弾テロ—少なくとも計 8 人死亡、27 人が負傷 (8. 12N夕)
8. 17 北朝鮮—8. 16 金正日総書記、韓国・現代グループ玄貞恩会長と会談→8. 17 北朝鮮アジア太平洋平和委員会、現代グループが 5 項目合意—金剛山観光の早期再開、南北間の陸路通行制限を解除、開城工業団地事業の活性化、北朝鮮の白頭山観光事業の推進、10 月に金剛山で離散家族再開を実施 (8. 17M夕)
⇒8. 18 金大中元大統領死去 (85 歳)—「独裁との闘争」、韓国民主化を主導 (8. 19A) →8. 19 A「死線越え続けた哲人、金大中氏—民族融和へ忍耐貫く」「(社)金大中氏死去—日韓の新時代を開いて」「南北統一かけた夢、金大中元大統領死去—『太陽政策』共存探る、思いは実らぬまま」
⇒8. 19 韓国政府、金大中氏の葬儀を 8. 23 国葬とする決定 (8. 20M)
⇒8. 21 北朝鮮弔問団 6 人、訪韓 (8. 22 各紙朝刊)
⇒8. 22 弔問団、韓国統一相と会談
⇒8. 23 故金大中氏国葬—沿道の 70 余万人見送る／北朝鮮弔問団(金己男朝鮮労働党書記)、李明博大統領と会談、南北改善を希望する旨の金正日総書記のメッセージを伝える (8. 24 各紙朝刊)

- 8.18 アフガン—8.20 大統領選控えてテロ相次ぐ、英兵ら 15 人死亡、60 人近く負傷 (8.19A)
 ⇒8.19 イラクー首都バグダッドで連続爆破テロ—少なくとも 75 人死亡、310 人負傷 (8.20M) →死者 95 人、負傷者 1,000 人以上に (8.21Y)
 ⇒8.20 アフガン大統領選—投票始まる (8.20Y夕) →8.21A 「アフガン緊迫の投票、大統領選—タリバーン、脅しと攻撃—米政権『不可欠な戦争』、問われる日本の新政権」→8.20 アフガン戦争「たたかう価値がない」51%、「価値がある」47%／戦争に「強く反対」41%、「強く賛成」31%—ABCニュース世論調査 (8.13~17) (ワシントン・ポスト紙) (8.21H)
 ⇒8.20 イラクー中部カルバラ近郊などで迫撃弾テロ—少なくとも計 7 人死亡、計 55 人負傷 (8.21N夕)
- 8.11 スー・チーさん軟禁継続—ミャンマー軍事政権・特別法廷で、アウン・サン、スー・チーさん (64) に 3 年の実刑判決—米国人を無断で自宅に滞在させた国家防衛法違反で→軍事法廷内相、1 年 6 月に減刑、自宅軟禁にする旨の政権決定 (8.12A) →8.12A 「軍政、権力維持へ必死—ミャンマー『邪魔者』封じ、翼賛態勢確立狙う—国連、手詰まり感、『強い遺憾』表明がやっと—対話路線実らぬ日本」「(社)ミャンマー—軍政がアジアを脅かす」／N(社)「許せぬスー・チー不当判決」→8.13M(社)「スー・チー氏判決—軍政の『北朝鮮化』防げ」／T(社)「スー・チーさん—『解散』が最低条件だ」
 ⇒8.11 オバマ大統領、軍事政権非難—「普遍的な人権の理念に背き、東南アジア諸国連合 (ASEAN) 憲章に逆らい、国連安全保障理事会の声明を無視したことをはっきり示すのもだ」「私は国際社会と共にスー・チーさんの即時無条件解放を求める」「真に国民和解のために国民や国際社会の意見を聞き入れることを求める」 (8.12A夕)
 ⇒8.13 国連安保理、懸念表明 (8.14M夕)
 ⇒8.15 米下院議員ジェームズ・ウェップ氏、アウン・サン・スー・チー氏と会見 (8.16Y)

2 歴史は繰り返さない—「人間がそれを繰り返す」……

☆被爆 64 年の広島で—田母神氏「核武装」論ぶつ

- 8.6 広島被爆 64 年平和宣言 (約 5 万人参加)—オバマ演説を支持—A夕「64 年芽吹く希望、原爆の日—オバマ・被爆者動かす」／M夕「問われる『核の傘』—核軍縮へ動いた米国—日本の進むべき道は—米の狙い『核テロ防止』」—「オバマ大統領『核管理』戦略、国際社会の賛同求め—特権譲らぬ 5 大国、日本の『核武装』米がけん制」→8.6M夕「広島の痛み、太陽見ると悪夢よみがえる—被爆者の 81 歳女性、式典に出席できず」「世界の誓い—米大統領『核兵器なき世界を』、広島原爆の日—元米兵『ヒバクシャの心学ぶ』→8.6Y夕『原爆症、原告全員を救済—確認書調印、官房長官が謝罪—核廃絶『Yes, we can』、広島原爆忌 64 回目』／T夕「『オバマ大統領ヒロシマへ来て』—核廃絶へ希望『あきらめない』」
 ⇒8.6 田母神氏「核武装」論講演 (日本会議ヒロシマ、広島市内のホテルで講演—850 人)—「危険人物の田母神です」として、「核廃絶は絶対に出来ない。夢物語にすぎない」「各国首脳も核武装して強い国になったほうが国が安全になると考えている。核兵器の戦争に勝者

はない。だから大きな戦争にもならない。日本も世界の中で生きるために核武装を追求すべきだ」(8.7T)

8. 7 原水爆禁止 2009 年世界大会・長崎開会（長崎市内、約 7,000 人）— 田上富久市長特別報告 (8.8H)
- ⇒8.7 世界平和 7 人委「核の傘」依存止めよのアピール発表 (8.8H)
 - ⇒8.7 原爆投下への米世論調査（米キニピアック大・7.27～8.3 全米有権者 2,409 人対象調査）—（米軍の広島・長崎への原爆投下について「正しかった」61%（男性 72%、女性 51%）、「間違っていた」22%（共和党支持者 13%、民主党支持者 29%）(8.9M)

☆長崎平和宣言と麻生首相の「核問題」発言と

8. 9 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典（約 6,000 人参加）— 1 年間の死者 3,304 人、累計死没者 14 万 9,266 人

<平和宣言>（田上富久長崎市長）

今、私たち人間の前にはふたつの道があります。ひとつは、「核兵器のない世界」への道であり、そう一つは、64 年前の広島と長崎の破壊をくりかえす滅亡の道です。……

日本政府は（オバマ大統領の）プラハ演説を支持し、被爆国として、国際社会を導く役割を果たさなければなりません。また、憲法の不戦と平和の理念を国際社会に広げ、非核三原則をゆるぎない立場とするための法制化と、北朝鮮を組み込んだ「北東アジア非核兵器地帯」の実現の方策に着手すべきです。……

世界の皆さん、今こそ、それぞれの暮らしの中で、プラハ演説への支持を表明する取り組みを始め、「核兵器のない世界」への道を共に歩んでいこうではありませんか。…… (8.10A)

⇒8.9 麻生太郎首相（記者会見）、「核先制不使用」否定的見解—（核兵器の先制不使用を米国に求める考えの存否を問われ）「核兵器を保有している国が『先制攻撃をしません』といったとしても、その意図を検証する方法はない。日本の安全を確保するうえで現実的にはいかなものか」と否定的見解 (8.10M) →8.10M「核保有国は長崎を見よ『核兵器のない世界への道』共に歩もう—64 回目原爆の日」／A「被爆、私も語り継ぐ—『人間は何している』前市長の遺志歌で、千葉の中 2 増野さん」／Y「『核』指導者よ長崎へ、平和宣言—訪問呼びかけ、64 回目原爆忌」／N「被爆者の声届いた—核廃絶変化の兆し、広がる希望と期待—『核兵器なくさなければ』浦上天主教など、犠牲者追悼」→8.10A(社)「広島・長崎・沖縄—平和のジレンマ解く道を」／H（主）「原爆禁止世界大会—力合わせ核兵器のない世界へ」

- 8.12 教科書採択—杉並区、10 年後の中学歴史教科書につき「つくる会」教科書を 4 対 1 で再採択決定 (8.13A)
- ⇒8.12 父母—教師ら抗議集会（120 人参加）、抗議文採択 (8.13H)
 - ⇒8.14「つくる会」教科書都立 31 校に—都教育委員会、来春開校の 4 校を含む都立中高一貫校 10 校と都立特別支援校 21 校（分教校含む）で来春から使う中学の歴史と公民教科書として「新しい歴史教科書をつくる会」主導の扶桑社版を採択（公開の教育委員会—6 人中

5人が賛成) (8.15A)

- 8.15 「核密約」—東郷和彦・元オランダ大使 (64)、「核密約関連資料」の存在を明言 (朝日新聞への寄稿)—98.7 条約局長に就任後、1960 年日米安保条約締結に向けた日米交渉やその後の運用をめぐる文書の整理、その中に「日本への核持ち込みに関連する資料」が大量に存在したこと—「今こそ非核三原則の中の『持ち込ませず』の意味を考えるべき時期に来たのではないだろうか」、「密約の有無と国会答弁の整合性についての議論は、もう終わりにする時期に来たと考える」「報道が事実ならば、外務省は、新しい政策立案をする過程で関連資料を復旧し、交渉の実態を再現すべきだと私は思う」

☆310 万犠牲者の慰霊と不戦の誓い

8.15 終戦記念日と各紙社説

- A 「あの戦争の記憶—世代を超え、橋を架ける」
M 「終戦記念日に際して—『打たれ強い日本』に、低エネルギー化急げ」
Y 「終戦の日—追悼めぐり議論を深めよ」
N 「悲劇を繰り返さぬ決意を新たにしよう」
T 「九条とビルマの堅琴—終戦の日に考える」
H 「終戦記念日—平和の決意を新たにする日に」

- 8.15 第 64 回全国戦没者追悼式 (政府主催、日本武道館、約 4,800 人参列)—麻生首相、式辞「とりわけアジア諸国の人々に対して、多大な損害と苦痛を与えた」とし「深い反省」と犠牲者への哀悼の意を表明／江田五月参院議長、追悼の辞「先の大戦では、国内外で苦難を味わった国民はもとより、我が国の侵略行為と植民地支配により、アジア諸国をはじめ広い地域の人々にも多大な苦しみと悲しみを与えた。その反省の上に立ち、戦争の惨禍を二度と繰り返すことなく、真に世界から信頼される平和国家を築いていくことが私たちの責務だ」「我が国は世界で唯一の被爆国であり、消し去ってはならない痛ましい経験を数多く持っている。米国のオバマ大統領の核廃絶発言で世界が新しい扉を開こうとするこの機会に、先の国会では衆参両院で核廃絶の本会議決議を全会一致で採択した。今こそ恒久平和の理想に向けて歩みを進めるよう、世界に働きかけていくことを決意する」(8.15A夕)—第二次大戦の戦没者、旧日本軍・軍属の約 230 万人、民間人約 80 万人

⇒8.15 靖国参拝—小泉、安倍両元首相、野田聖子消費者行政担当相ら参拝、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の 41 人も集団参拝 (自民、民主、改革ク—衆院前職 29 人、参院 12 人) (8.15A夕)

3 米英型2大政党制は戦争の歴史—問われているのは日本の未来

- 8.8 H 「比例削減、民主主義の土台壊す—自民・民主で 95%の議席—3 割の民意切捨て、民主が法案提出を公言」

8. 8 渡辺新党結成一渡辺喜美元行革相、新党「みんなの党」結成を公表—「脱官僚、地域主権、生活重視」を3本柱とする衆院選マニフェストを公表—公認13人、推薦候補2人、計15人の擁立—キャスティングボートを握り、政界再編に期待 (8.9A)
8. 9 自民、全紙朝刊に全面広告—麻生首相太郎の上半身写真と「日本を守る責任力」のタイトルで「未来を守ることができるのは、どの政党か。どうか、この8月を、日本を考える1ヶ月にしてください。自民党」の宣伝文
- 8.11 「一票格差」最大2.33倍(総務省発表の住民基本台帳の人口に基づく試算)—人口最小の高知3区(25万2,840人)との格差が2倍を超える選挙区が56選挙区、前年比3選挙区増/格差最大は千葉4区(59万943人)で2.337倍(05年の国政調査時2.203倍) (8.12Y)
- 8.11 道州制に町村会反対—自民の衆院選マニフェスト「17年までに道州制導入」に全国町村会臨時総会で「道州制に断固反対」の意見書可決 (8.12M)
- 8.11 6党党首討論(日本テレビ系—NEWS ZERO) (8.13A)
- 8.12 自・民党首討論(21世紀政治臨調)—「責任力」対「政権交代」—「財源」論で激論(8.13各紙朝刊)→8.13各紙社説—A「09年総選挙、党首対決—もっと大きな論点で」/M「党首討論—もどかしさだけが残る」/Y「党首討論—財源と安保の議論を深めよ」/N「両党首は国の将来ビジョンを語れ」/T「掘り下げ不足の討論会」→8.13Y(立候補予定者アンケート)—約1300人を対象に実施1,223人から回答(自民303人、民主270人、公明33人、共産166人、社民36人、国民新16人、みんなの党10人、その他389人)
- ① 衆院選の争点として特に取り上げたい問題—景気67.0%、雇用32.7%、環境32.0%、年金28.5%、北朝鮮21.9%、消費税21.6%、外交・安全保障20.4%、
 - ② 望ましい政権—自公中心25.7%、民主中心20.2%、新しい枠組み22.5%
 - ③ 衆院選後の政界再編は—多少は進む・大いに進む35.6%、余り進まない12.4%
 - ④ 消費税—やむを得ない31.1%、そうは思わない67.3%
 - ⑤ 郵政民営化—このまま進めるべき18.0%、弊害見直す程度にとどめるべき32.3%、抜本的見直しを36.9%、元に戻すべき12.0%
 - ⑥ 憲法改正の是非—改正する方がよい73.3%(自民98%、民主62%、公明88%、国民75%)、改正しないほうがよい24.1%、DK2.6%
 - ⑦ 衆参二院制のあり方—合併して一院制に33.2%、二院制を維持し、役割・権限を見直し40.7%、現状でよい17.7%
- 8.15M「自民と距離、業界の乱拡大—医師会、農業団体『目覚ませ』」→8.15M「05年以降の主要法案賛否—再可決は12回、衆参のねじれ響く」
- 8.17 GDP、年3.7%増(内閣府発表)—09年4~6月期の国内総生産(GDP)の1次速報値—実質GDP比は前期比0.9%増、年率換算で3.7%増—08.10~12期、09.1~3期と2期続けてマイナス成長(8.17A夕)—「1年3日ヵ月ぶりプラス」(Y夕)→8.17N夕「GDP実質3.7%成長—4~6月年率、5四半期ぶりプラス—アジア向け輸出増—公共投資・個人

消費、経済対策が寄与」「自律回復なお遠く—7～9月は伸び鈍化も」「雇用者報酬最悪の4.7%減—夏ボーナス減響く」→8.17Y夕「医師会、各地で「反自民」—『親民主』や自主投票、医療政策に閉塞感」

☆直前の政党党首討論と衆院総選挙公示

8.17 主要6政党党首討論会（日本記者クラブ）→8.18M「衆院選きょう公示—『責任』か『変革』か—麻生首相『一貫性ある実行力』、鳩山代表『官僚任せを打破』」→8.18A（世論調査）—8.15～16全国電話調査、有効回答1,011人

- ① 麻生内閣—支持率19%、不支持65%
- ② 政党支持率—自民20%、民主32%、公明2%、共産4%、社民1%、政党支持なし34%
- ③ 比例区で投票する政党—自民21%、民主40%、公明4%、共産5%、社民2%、不答・DK27%
- ④ 小選挙区で投票する政党—自民21%、民主40%、公明2%、共産3%、社民1%、不答・DK29%
- ⑤ 今後の政権—自民中心21%、民主中心49%
- ⑥ 首相としてのふさわしさ—麻生20%、鳩山41%

→8.18T（世論調査）—8.13～8.16全国300地点選定による電話調査、有効回答3,600人

- ① 衆院選で最も重視する政策—年金・医療38.3%、景気29.0%、雇用10.7%、財政7.8%、教育改革6.4%・・
- ② 麻生内閣—支持21.7%、不支持70.1%、DK8.3%
- ③ 首相のふさわしさ—麻生25.2%、鳩山45.9%、DK28.9%
- ④ 民主に政権担当能力あるか—あると思う41.2%、あるとは思わない43.8%、DK15.0%
- ⑤ 小選挙区で投票する政党候補者—自民18.7%、民主35.8%、公明3.1%、共産2.4%、社民1.3%
- ⑥ 比例代表で投票する政党—自民16.2%、民主34.6%、公明5.2%、共産3.3%、社民1.8%
- ⑦ 望ましい政権の枠組み—自民・自民中心20.0%、民主・民主中心34.6%、自・民大連立16.5%、政界再編による新しい枠組20.1%

8.18 第45回総選挙公示→8.30の投票→国民審査対象裁判官9人の第21回国民審査告示順決まる→8.18A夕「政権、継続が交代か—総選挙公示、自民、民主公約掲げ決戦—30日投票—麻生首相「景気策を最優先—鳩山首相『新しい政治興す』」「自民vs.民主—小選挙区陣取り合戦—『一騎打ち型』5倍超—野党競合区は半減、都市部の無党派層カギ」「交代、再編も見据え—民主、政権へ—丸—自民『大連立も』」/M夕「『政権交代』是非問う—自民『責任政党』訴え—民主『生活重視』掲げ」「『小泉票』争奪戦、チルドレン苦境—不出馬6人、離党が4人—国替え、比例で冷遇も」「対決構図鮮明に—野党共闘、24区で—自民・民主、直接対決は減少—保守分裂36区に、自公協力—逆風、徹底に疑問も」/Y夕「『政権選択が焦点—自公か民主中心か、マニフェスト競う—1,300人超届出、30日投開票』

- 8.18 有権者数 98 万 6,000 人増(総務省発表)―選挙人名簿登録者数(8.17 現在) 1 億 423 万 5,718 人(男性 5,040 万 7,096 人、女性 5,382 万 8,622 人)、海外登録者数 10 万 8,447 人(男性 5 万 4,377 人、女性 5 万 4,070 人)／1 票格差 2.30 倍(千葉 4 区対高知 3 区)―前回 2.17 倍)、格差 2 倍超 46 区(8.19A)→8.19T 夕「期日前投票右肩上がり、07 年参院選 1,000 万人突破―有効票の 2 割、各党も呼び掛け」―09.7 都議選約 87 万 5,000 人(対前回比 8 割増)→8.23 N(社)「ネットを使えない選挙は変だ」

☆選挙戦の様相と各紙民主圧勝の予測

- 8.19 「暮らし重視競う、総選挙公示―財源・手順、焦点に」「財政出動型に自・民回帰、朝日・東大調査」／M『『強気』民主、『件名』自民―衆院選公示、政権維持・交代へ戦術様変わり』「追い込まれた自公―幹部演説、批判が軸―民主、政権意識し抑制」「衆院選の候補者―世襲なお 174 人、自民では 3 割超す」「衆院選公示―市場は『買い』懐疑的―各党成長戦略見えず、「バラマキ効果一時的」」「自民と長年の蜜月―経団連、立場微妙」／Y「衆院選 1,374 人立候補―麻生首相『日本を守る』、鳩山代表『新しい政治』」「民主名簿『小沢色』濃く」「300 小選挙区対決の構図―『政権選択型』280 選挙区、9 割超す―野党 1 本化進む」「成長戦略切実な要望、衆院選企業アンケート―規制緩和や法人減税、消費税上げは賛成 8 割」／N「麻



「負けっぶり」が気になる麻生首相 2009.8.20
(「マッド・アマノのパロディータイムス」より)

http://www.parody-times.com/topimage/titleweekly-dog_a.jpg

生首相、経済回復を強調—鳩山代表、家計支援に力点」「無党派 1,000 万票争奪—大勝・大敗振れ大きく」「『政権の形』視野に攻防」「党首の第一声—首相『経済』に 3 割—鳩山氏、与党批判に力点」／T「衆院選データ解析—『自公常勝区』勝敗が鍵小選挙区過半数の 158—民主、共闘で底上げ—競合激減, 9 選挙区で逆転」→8. 20A「小沢チルドレン、総選挙後急増?—新顔を囲い込み—比例順位も『側近の身内、元秘書・塾生』」／M「民・公、意外な近似性、全候補アンケート—9 条改正賛成 2 割—政治改革も自民と距離」「再編志向、自民に強く—当選後の政党移動、17%『問題ない』」→8. 20Y「インフル禍の選挙戦—握手を自粛、演説会に消毒液—悩む各陣営、政府は集会自粛求めず」「なおざりな憲法論議、衆院選—自民『余裕ない』・民主は社民に配慮」／N『業界団体自民離れ加速—医師会の支援、26 都県どまり—農業・建設も見直し』「新型インフル—選挙戦影響じわり—スタッフ感染、集会中止も」

→8. 20 民主、各紙全面広告—「あなたの手で政権交代」とのタイトルで「政権政策の実行手順（民主党マニフェスト工程表）と民主党の<52 の政策>—実現するのは、あなたと民主党です」とし、右下に鳩山党首のマイク持つ顔写真を配す→8. 21N夕「全国で 200 回前回の倍—公開討論会、大はやり—『選挙身近に』有権者好評、論争内容には不満も」／T夕「ネット政見にアクセス集中、候補者の半数動画公開—『いつでも見られる』人気—衆院選、公示日 70 万件」

8. 20 A「民主、300 議席うかがう勢い—総選挙序盤・本社情勢調査—自民苦戦、半減か」→8. 21 Y「民主 300 議席超す勢い、衆院選情勢本社 11 万人調査—自民激減、公明は苦戦—『選挙に関心』最高 89%」「民主旋風津々浦々—『年と地方』『世代』問わず、『自民常勝区』も優勢」→8. 21N「民主圧勝の勢い、衆院選情勢調査—300 議席超が当選圏—自民、半減以下も」「自民離れ、地方でも—『常勝』94 選挙区、軒並み苦戦—崩れる支持基盤」「民主、大都市で圧倒的—東京の 7 割強を固める」→8. 21Y夕「衆院選、民主圧勝予測—民主『上滑り』警戒—自民巻き返し誓う」→8. 22M「民主 320 議席超す勢い、衆院選本社総合調査—自民 100 議席割れも、11 道県全勝の可能性」「揺らぐ自民の牙城—15 道県で全敗か、民主が席卷『オセロ現象』—民主、無党派層を吸収」→8. 23T「民主、300 議席超す勢い、本紙衆院選情勢分析—自民は 100 前後か—公明、小選挙区で苦戦」「都内—民主、21 の区で先行」「政界勢力の激変必至—民主旋風が全国席卷—自民地盤、進む液状化—『独占県』初めて出現か—『自民王国』10 県も危機」→8. 22M夕「岐路の夏 09 衆院選—外国特派員も注視—米記者「公約に差はない」、英紙記者『政界再編が必要』、韓国記者『長期政権が問題』—政権交代の『先輩国』はこう見る」→8. 23M「社説ウオッチング—政権交代の意義問う、衆院選公示—毎日・朝日・日経・東京、歴史的選挙と強調—読売、ムード先行に警戒感」

4 悪化する生活基盤の改革こそ必要

8. 6 生活保護受給者 166 万人（厚労省集計）—09. 4 時点での受給者は全国で 166 万 4, 892 人、08. 4 比で 10 万 6, 210 人増／09. 4 時点の受給世帯数 120 万 3, 874 世帯、過去最多（8. 7T夕）
8. 8 「生活向上」、過去最低 2. 8%（内閣府世論調査）—6 月調査（全国 10, 000 人対象、回答率

62.5%) —生活が「向上している」2.8% (前年 4.4%) で過去最低、政府への要望—景気対策 62.5% (対前年より 6.4%増)、雇用・労働問題 51.1% (同 6.4%増) (8.9A) / 「日常生活での悩みや不安を感じている」68.8% (同 70.8%)、「悩みや不安を感じていない」30.4% (8.9M)

8. 7 米失業率 9.4% (米労働省発表) —7月の雇用統計失業率 9.4% (対前月 0.1%減)、08.4以来年 3 ヶ月ぶりに改善 (8.8A)

⇒8.7 オバマ大統領 (演説)「(経済が) 最悪期を脱した可能性を示すさらなる兆候だ」「トンネルの終わりに光が見える」「7月の雇用喪失は6月よりも 20 万人近く少なく、今年初めの雇用減が 70 万人近かったことと比べると、はるかに小さい。我々は正しい方向に向かっている」(8.8A夕)

8. 9 M「世界経済危機の発火点—サブプライム問題 2 年—不安ほぼ鎮火、後遺症なお—米欧金融機関、追加損の恐れ「雇用、所得厳しい情勢—米住宅市場、回復遠く」

8. 12 米の財政赤字 122 兆円 (米財務省発表) —7月の財政収支は、財政赤字が 1,806 億 8,000 万ドル (約 17 兆 4,000 億円) / 09 会計年度 (08.10~09.9) の財政赤字—過去 10 ヶ月間合計 1 兆 2,669 億 5,800 万ドル (約 122 兆円)、過去最悪を更新 (8.13A夕)

8. 18 非正規雇用者の減少 (総務省発表) —4~6 月期の労働力調査の詳細集計 (速報)、非正規雇用者数 (アルバイト、派遣など) 1,685 万人、前年同期比 47 万人減 (8.19N) →8.23N「企業の人件費圧縮続く、消費に下押しリスク—単位労働コスト、伸び鈍る 4~6 月」

8. 11 人口「自然減」最大 (総務省 09.3.31 現在の人口発表) —全国の人口は 1 億 2,707 万 6,183 人前年比 1 万 5 人増)、2 年連続で増—海外からの転入や帰化などに伴う「社会増加数」が 5 万 5,919 人増加 / 出生者から死亡者を差引いた「自然増加数」は 4 万 5,914 人減、過去最大 (8.11Y)

5 その他のニュース

☆ショウ化する裁判員裁判第 1 号が物語る

8. 6 裁判員裁判第 1 号判決—東京地裁 (秋葉康弘裁判長)、殺人罪で藤井勝吉日 (72) に対し懲役 15 年の判決 (求刑 16 年) →8.7A「初の裁判員裁判終了—判決懲役 15 年」「評議『意見言いやすかった』、量刑『これでよかったのか』—全裁判員が会見」「量刑、従来より『結果』重視—専門家『やや重め』の声」「裁判『見る聞くわかる』へ—CGや口語法廷—変、プレゼン技術で差懸念」「裁く重責達成感—『1 人の自由奪う結論、正確はない』、経験 7 人思い複雑」→8.7M「裁判員懲役 15 年判決—求刑 16 年『強い殺意』を認定—主婦にできるか不安だったが皆と成し遂げた」「司法、少し身近に」「大任果たし安堵—普段着の市民 6 人、自らの人生に思い致し」→8.7Y「裁判員へ配慮随所に—資料は視覚的、尋問の合間に休廷—

日程『死刑判断なら4日ではムリ…』「量刑『気持ち揺れた』初の裁判員ら7人、4日間終えほっと一家族、仲間の支援感謝—検察『立証活動の工夫評価された』、被告『同年代ならトラブル理解も』」

→裁判員第1号判決と各紙社説

- A「裁判員判決—全員が語った体験の重さ」
- M『裁判員裁判—順調に始まったけれど』
- Y「裁判員判決—検証の積み重ねが欠かせない」
- N「裁判員裁判で刑事司法を良くしよう」
- サ「裁判員裁判—国民の義務見事果たした」

→8.8T「裁判員初判決一定着へ試行錯誤重ねて」→8.9M「社説ウォッチング、初の裁判員裁判—順調なスタート強調—毎日・朝日・日経、守秘義務に対し問題提起」→8.9T「市民参加の意義、検証不十分—おかしい！ 裁判員制度—守秘義務を優先、加熱報道でショー化『事件の本質伝わらず』」

- 8.6 米、初のヒスパニック系最高裁判事承認—米上院、ソニア・ソトマイヨール連邦高裁判事(55)の連邦最高裁判事への就任を承認(賛成68、反対31)—女性は3人目、ヒスパニック系(中南米系)は初/最高裁判事9人の構成〈1〉リベラル派4人—スティーブズ(89)、ギンズバーグ(76、女性)、ブライヤー(70)、ソトマイヨール(55)、〈2〉保守派4人—スカリア(73)、トーマス(61、黒人)、ロバーツ長官(54)、アリート(59)、〈3〉中道派1人—ケネディ(73)(8.7各紙夕刊)
- 8.7 タレント酒井法子(38)に逮捕状—覚せい剤取締法違反容疑で(8.7A夕)—「清純派・理想のママが、酒井容疑者に逮捕状—裁判員DVDも出演、事務所社員『情けない』」/Y夕「『のりピーが…まさか』、清新イメージ崩れる—覚せい剤容疑逮捕状、裁判員PR役も」
⇒8.8酒井、警視庁へ出頭し逮捕さる(8.9A)

☆台風8号、9号のツメ跡と静岡地震の恐怖

- 8.10 台風9号の豪雨—兵庫・岡山・徳島、12人死亡、10人不明(8.10A夕)→死者20人・不明2人(8.16A)
⇒8.11 豪雨死者は13人、西日本3県、不明は18人
⇒8.11 静岡で震度6弱の地震—110人重軽傷(8.12Y)
⇒8.12 地震で死亡1人、負傷者116人(うち重傷7人)、住宅一部損壊5,188棟(8.12A夕)
⇒8.12 までに台風8号の台湾の被害—71人死亡、61人不明(8.13M)
⇒8.14 台湾・台風8号の被害「死者500人以上」—馬英九総統公表(8.15M)
- 8.10 裁判員裁判2件目—さいたま地裁、殺人未遂事件第1回公判(8.10Y夕)
⇒8.11 検事、懲役6年を求刑、弁護側は執行猶予付判決を求めた⇒8.12 懲役4年6月の実刑判決→8.12M「傍聴記・土木武司さん—『裁判ショウ』の印象ぬぐえず」

⇒8.12 裁判員 5 人、記者会見—「守秘義務」に触れるとして立会職員が規制 (8.13T)

☆新型インフル初死者と金大中氏死去弔問外交と

- 8.15 新型インフル国内初死者—沖縄県宜野湾市の男性 (57)、入院先病院で死亡—慢性腎不全で透析中 (8.16 各紙朝刊)
⇒8.18 新型インフル、2 人目の死者—神戸市垂水区の男性 (77) —糖尿病による腎不全で人工透析中 (8.19A)
⇒8.19 名古屋の 80 代死亡、国内 3 人目—80 歳代の女性 (多発性骨髄腫、心不全) (8.19 A夕)
⇒8.19 「本格的流行始まる」—舛添厚労相 (記者会見)、「本格的流行が始まったと考えていい」／国立感染症研究所によると全国 5 千ヵ所の医療機関からの報告では、最新の 1 週間 (8.3~8.9) に医療機関を受診した全国患者数は 6 万人と推計、その大部分が新型インフル患者とみている (8.19A夕) →8.20Y 「インフル禍の選挙戦—握手を自粛、演説会に消毒液—悩む各陣営、政府は集会自粛求めず」 →8.22A 「新インフル『流行期』、厚労省発表—受診、週に 11 万人
- 8.16 ボルト、100 メートルで 9 秒 58 世界新 (ベルリン、第 12 回世界選手権) —男子 100 メートル決勝でウサイン・ボルト (ジャマイカ) が 9 秒 58 の世界新 (8.17 各紙夕刊)
⇒8.20 ボルト、200 メートル決勝でも世界新—19.19 秒 (従前、自身の 19.30 秒) (8.21 A夕)